天（山折り）

257.5mm

杉並区議会議員

松本みつひろ

Vol.05

令和二年第二回定例会議

杉並区議会レポート

松本みつひろ 一般質問

～新型コロナウイルス感染症の拡大に、杉並区はどう立ち向かうのか～

▼子ども達の学びの保障、オンライン教育の可能性

▼発災時の対応、特別定額給付金、ごみの増加、保育など

▼感染症にしなやかに立ち向かえるか、杉並区のオンライン化

▼総務財政委員会 他

左

Topic 子ども達の学びの保障、オンライン教育の可能性

今年2月の一般質問で取り上げた「GIGAスクールネットワーク構想」が、コロナ禍への対策として前倒しになり、今年度から区立小中学校の全生徒が一人一台端末を利用できる補助制度が作られました。国の全額負担でオンライン教育の環境が整うチャンスにもかかわらず、杉並区ではこの補助を受けることが難しいと教育委員会から聞いたことがきっかけです。子ども達の未来のために、全力投球で臨みました。

松本：「公立学校情報機器整備費補助金」の実施要綱のうち、杉並区が該当しない要件は。それは現時点でも必須のものとされているか。

教育次長：一人一台のタブレット端末配備計画があることが前提で、区の計画では要件を満たさない状況だった。5月20日付の文科省通知で、簡易な計画による申請も可能となった。

松本：今年度の補助を見送った場合、別の補助はあるのか。補助を使わない場合どのように整備するのか。

教育次長：現時点では別の補助は示されていない。今回の補助が活用できない場合、公費*1による配備を目指す。

松本：子ども達の学びの保障のために、補助を活用し、一人一台端末整備を早急に行うことを提案するが、区教委の見解は。

教育次長：現総合計画では、将来的な一人一台専用端末の配備を目指すこととしている。国のGIGAスクール構想の加速化の動きを捉え、可能性について検討する。

*1 公費：国家または公共団体の費用。この場面では杉並区の財源を利用するという意味

別紙2

GIGAスクール構想の実現に向けた計画等確認書

確認を要する項目と内容

項目	確認内容	チェック欄	該当無し
ICT活用計画及び達成状況を踏まえたフォローアップ計画	・1人1台端末をはじめとする「ICTを十分に活用する計画となっているか。	□	－
	・ICTの活用状況を適切に把握し、その結果を踏まえてフォローアップを行う計画となっているか。	□	－
	・指導体制の強化や働き方改革（校務の効率化）への対応を行う計画となっているか。	□	－
通信ネットワーク環境整備計画	・1人1台端末環境で支障なくICTを活用した学習活動を行うことができる高速大容量の通信ネットワーク環境が整備されている又は整備する計画となっているか。	□	－
	・インターネット接続については、同時利用率を考慮して1台あたり2Mbps程度の通信速度を確保する、または整備する計画となっているか。	□	－
	・ICTを用いた民間サービスの活用を予定する場合には、通信料の確保について記載されているか。	□	□
学習者用コンピュータ配備計画	・直近の学校基本調査（確定値）による児童生徒数に照らして、適切な整備台数となっているか。	□	－
	・地方財政措置算定分（3人に1台）について、2022年度までに自治体の一般財源で整備する計画となっているか。	□	－
広域・大規模での共同調達実施計画	・端末の共同調達を行う場合には、共同調達の実施計画について概要が記載されているか。	□	□
計画の取扱い等に関する事項	・計画について、総合教育会議や教育委員会会議等に諮っている又は諮る予定があるか。	□	－
	・計画について、自治体のホームページ等により公表することが予定されているか。	□	－

※ 交付申請の提出に当たっては、各項目の該当するチェック欄に必ず印をすること
※ 本計画は市区町村単位で作成すること（都道府県立学校分については、都道府県単位で作成）

以上の事項について確認の上、別添の計画等を提出する。

地方公共団体の名称及びに当該団体の長の職名及び氏名　印

▲簡易的な計画による申請

この質問の後、Microsoft Teamsを活用した「オンラインホームルーム」を実施するための諮問が、杉並区情報公開・個人情報保護審議会に対して行われました。オンライン教育の仕組みとセキュリティのルールは準備が整いました。あとは一人一台端末が整備できれば、オンライン教育が実施可能になり、第二波などで再び休校になっても、子ども達の学びの保障が実現できます！

〈 杉並区議会レポート 中面に続きます

※年齢・性別や障がいに関係なく、あらゆる人が読みやすいように設計されたUDフォントを使用しています

257.5mm

182mm

Topic 発災時の対応、特別定額給付金、ごみの増加、保育など

松本：発災時、区の避難所・震災救援所は、「3密」環境下での受入となるのか。現場でどこまで「3密」回避の対応が可能と考えているか。

危機管理室長：水害の際は、昨年の台風19号の時の状況となっても「3密」状態とならないよう、対策を進めている。震災の際は想定される避難者数が極めて多く、「3密」状態が危惧されるため、都立高校等にさらに広いスペースを提供してもらえるよう、都と協議を進めている。

松本：新型コロナウイルス感染症の影響で、工期を延長せざるを得ない工事現場が出てきているようだが、今年度荻窪で進行している5事業の進捗状況を確認する。

土木担当部長：5事業とも概ね予定通りに進んでいる。（図1参照）

松本：特別定額給付金の支給に際し、DV避難者への対応を行ったが、避難者の申出状況は。

区民生活部長：杉並区給付分で36件62人、他自治体給付分35件73人（5月21日時点）。

松本：テイクアウトの市場拡大等により、ごみ収集量が増えているのではないか。

環境部長：4月1週目から5月3週目までの期間で、可燃ごみは約13％、不燃ごみ、プラスチック製容器包装はそれぞれ約15％増えている。

松本：保育施設等の対応のうち、登園自粛と原則臨時休園それぞれの要請内容と、期間中の登園割合、保育料の取扱いを確認する。

（右下へ続く）

▶図1

事業	進捗状況
(仮称)荻窪五丁目公園の整備事業	設計作業が進行中、8月開園予定
特別区道第2096-1号線の無電柱化整備事業	地下埋設物の調査、電線共同溝の設計を実施
荻窪地下道の補修工事	積算が完了、発注に向けた手続き段階
荻窪道しるべプランにおける案内サインの設置	他事例や手法などの情報収集
中央図書館の改修事業	6月の竣工に向け、内装の仕上げ等を行っている

子ども家庭部長：図2の通り。

松本：保育の利用調整指数について、保護者の学び直しという機会の平等を、保育制度上で担保すべく改善を求めるがいかがか。

子ども家庭部長：4月に3年連続で待機児童ゼロを達成するなど、入所状況が改善されつつあるので、議員ご指摘の点も含め、今後の利用調整指数のあり方について検討し、秋までに公表する。

レポートにはがきをつけて、皆様の声を伺う取組をVol.3から継続しています。これは日本維新の会副代表の吉村洋文副代表が大阪市会議員の頃に行われていたもので、吉村さん本人からアドバイスをいただき真似て行っているものです。はがきの重さを郵便局所定の2グラムにするため、レポートは厚紙を使っています。

	要請内容	登園児の割合	保育料の取扱い
登園自粛	自宅保育が可能な保護者に対し園児の登園を控えるよう**お願い**	約8割	利用日数に応じて減額または免除
原則臨時休園	特に保育が必要な方のみの限定利用とする	約1割	

▲図2

キリトリ

ご意見、ご要望などをお聞かせください。

182mm

右

最新情報はSNSで発信し続けています。フォローいただけますと幸いです。

公式HP

行政に関するお困りごとを、一緒に解決していければと思います。
ぜひ松本みつひろにお声がけください。

松本みつひろ事務所　〒167-0051 杉並区荻窪4-21-8-301
matsumoto@suginami-kugikai.jp / 080-4327-7767

キリトリ

ご住所：杉並区

お名前：

電話番号：

生年月日：

地